



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
コード番号 8154 URL <https://www.taxan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 門 良一
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 石原 康広 TEL 03-5657-0111
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	275,044	△7.9	13,876	△24.4	13,945	△26.3	11,404	△15.0
2023年3月期第2四半期	298,760	34.0	18,361	121.2	18,932	124.0	13,412	138.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 16,983百万円 (△19.3%) 2023年3月期第2四半期 21,035百万円 (218.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	434.23	—
2023年3月期第2四半期	510.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	290,328	143,607	49.4
2023年3月期	286,217	129,737	45.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 143,465百万円 2023年3月期 129,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	100.00	—	120.00	220.00
2024年3月期	—	110.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	110.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 中間配当金の内訳 普通配当70円00銭 特別配当 30円00銭

2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当70円00銭 創立55周年記念配当 10円00銭 特別配当 40円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△9.5	25,000	△22.5	25,000	△23.6	18,000	△22.0	685.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	28,702,118株	2023年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,434,067株	2023年3月期	2,440,983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	26,264,058株	2023年3月期2Q	26,253,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年11月24日（金）に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。なお、四半期決算説明補足資料につきましては本日（2023年11月8日（水））、TDnetおよび当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、四半期決算説明会内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、2023年11月24日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定です（ただし、英文動画は後日掲載）。

（和文）https://www.taxan.co.jp/jp/ir/event/event_01.html

（英文）https://www.taxan.co.jp/en/ir/event/event_01.html

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済情勢は、米国では個人消費や設備投資が増加し緩やかな回復傾向となりましたが、欧州では景気の足踏み状態が続いたほか、中国では不動産市場の低迷が景気の下押し要因となるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。日本では、経済活動の正常化が進展するとともに、雇用や賃金上昇を背景として個人消費を中心に緩やかな回復が継続しました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、世界的な半導体不足の改善にともない生産回復が進む車載関連向けは自動車の電装化・電動化を背景に旺盛な需要が継続する一方で、PCやスマートフォン向けは需要低迷、産業機器向けは調整局面が続くなど、需給バランスの二極化が継続しています。

このような経営環境の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、情報機器事業およびその他事業は売上が拡大しましたが、中核の電子部品事業において半導体や電子部品の供給不足緩和にともなうスポット需要の消失や顧客全般における在庫調整の影響が一部顕在化したことなどを受け、売上高は2,750億44百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。営業利益は、売上減にともなう売上総利益の減少に加えて第1四半期より計上している当社グループ取引先の民事再生手続き開始にともなう貸倒引当金繰入など4億円の影響もあり、138億76百万円（前年同四半期比24.4%減）、経常利益は139億45百万円（前年同四半期比26.3%減）となりました。一方、投資有価証券売却益10億74百万円や企業買収にともなう負ののれん発生益4億81百万円など特別利益の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は114億4百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	298,760	275,044	△23,716	△7.9%
売上総利益 (利益率)	40,001 13.4%	35,160 12.8%	△4,840 △0.6pt	△12.1% —
販売費及び一般管理費	21,639	21,284	△355	△1.6%
営業利益	18,361	13,876	△4,485	△24.4%
経常利益	18,932	13,945	△4,986	△26.3%
税金等調整前四半期純利益	18,951	15,795	△3,156	△16.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,412	11,404	△2,007	△15.0%
為替レート（期中平均） USドル	133円97銭	141円00銭	7円03銭	—

セグメントごとの業績概況は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS^(注)などの開発・製造・販売など）

当事業では、部品販売ビジネスは、前事業年度まで2年続いた半導体や電子部品の供給不足が緩和されたこととともないスポット需要が消失したことや顧客における在庫調整の影響が一部顕在化したことなどにより、売上が大きく減少しました。EMSビジネスでは、車載向け売上は半導体や電子部品の需給改善により伸長した一方、医療機器、産業機器向け売上は主要顧客における在庫調整の影響もあり減少しました。

これらの結果、売上高は2,425億64百万円（前年同四半期比9.6%減）、セグメント利益は117億85百万円（前年同四半期比29.1%減）となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

当事業では、教育機関向けパソコン販売が順調に推移し、セキュリティソフトやPC周辺製品などの販売も堅調に推移しました。また、LED設置ビジネスは、前事業年度から本格展開を開始した大口案件が寄与しました。

これらの結果、売上高は207億15百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益は12億80百万円（前年同四半期比32.7%増）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

当事業では、ゲームやCG映像制作の受注は堅調に推移し、売上高は概ね前年同期並みの12億25百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益は1億12百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

当事業では、PC製品およびPC周辺機器のリサイクルビジネス、およびアミューズメント機器やスポーツ用品の販売が順調に推移し、売上高は105億39百万円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益は6億23百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

〈セグメント別業績の状況〉

		前第2四半期	当第2四半期	増減	
		連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)	百万円	
電子部品事業	売上高	268,464	242,564	△25,899	△9.6%
	セグメント利益	16,617	11,785	△4,831	△29.1%
情報機器事業	売上高	19,597	20,715	1,118	5.7%
	セグメント利益	965	1,280	315	32.7%
ソフトウェア事業	売上高	1,307	1,225	△82	△6.3%
	セグメント利益	95	112	17	18.2%
その他事業	売上高	9,392	10,539	1,147	12.2%
	セグメント利益	658	623	△34	△5.3%
合計	売上高	298,760	275,044	△23,716	△7.9%
	セグメント利益	18,361	13,876	△4,485	△24.4%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,903億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億10百万円の増加となりました。

流動資産は2,523億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億65百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が98億86百万円、棚卸資産が73億75百万円それぞれ増加し、売掛金が113億27百万円減少したことによるものであります。

固定資産は379億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億54百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が25億90百万円減少したことによるものであります。

負債は1,467億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ97億58百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税が33億89百万円、支払手形及び買掛金が18億79百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は1,436億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ138億69百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、株主資本合計が82億95百万円、為替換算調整勘定が57億72百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、572億5百万円と前連結会計年度末に比べ68億98百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、95億51百万円の収入（前年同期は106億50百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億97百万円の支出（前年同期は34億92百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、41億94百万円の支出（前年同期は31億87百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期に引き続き社内計画を上回って進捗しておりますが、インフレ進行や金融引締め長期化への警戒に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や緊迫化する中東情勢など地政学リスクの高まりなど、先行きに対する不透明感が一層強まっていることに鑑み、2023年5月11日に公表しました通期の連結業績予想を修正しておりません。

当社グループは、引き続き『中期経営計画2024』で策定した成長戦略に沿って、更なる成長の実現と収益体質の強化を図り、一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

(参考) 2024年3月期業績予想および「中期経営計画2024」経営目標

	2024年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 業績予想 (2023年5月11日公表)	進捗率	「中期経営計画2024」 経営目標 (2025年3月期)
売上高	2,750億円	5,500億円	50.0%	7,500億円
営業利益	138億円	250億円	55.5%	300億円以上
経常利益	139億円	250億円	55.8%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	114億円	180億円	63.4%	—
ROE	—	13.3%	—	安定的に10%以上

(注) 上記の予想につきましては、当社が公表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,600	62,487
受取手形	1,534	1,751
電子記録債権	9,683	9,446
売掛金	117,881	106,554
有価証券	195	214
商品及び製品	41,375	45,974
仕掛品	2,277	2,553
原材料及び貯蔵品	12,552	15,053
その他	7,624	8,481
貸倒引当金	△153	△179
流動資産合計	245,572	252,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,690	6,613
機械装置及び運搬具（純額）	6,466	7,043
工具、器具及び備品（純額）	1,103	1,179
土地	5,859	6,050
建設仮勘定	39	1,065
有形固定資産合計	20,158	21,951
無形固定資産		
のれん	48	32
ソフトウェア	2,617	2,244
その他	36	45
無形固定資産合計	2,702	2,321
投資その他の資産		
投資有価証券	12,144	9,554
繰延税金資産	2,162	1,120
差入保証金	1,280	1,056
保険積立金	920	871
破産更生債権等	4,842	5,030
その他	1,298	1,172
貸倒引当金	△4,864	△5,090
投資その他の資産合計	17,784	13,717
固定資産合計	40,645	37,990
資産合計	286,217	290,328

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,232	77,353
短期借入金	19,585	19,939
未払費用	8,400	7,943
未払法人税等	6,011	2,621
役員賞与引当金	465	16
その他	13,852	9,162
流動負債合計	127,547	117,037
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,600	10,600
繰延税金負債	2,634	3,181
役員退職慰労引当金	143	141
退職給付に係る負債	2,148	2,270
資産除去債務	627	644
その他	2,778	2,845
固定負債合計	28,932	29,682
負債合計	156,479	146,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	14,820	14,849
利益剰余金	95,945	104,198
自己株式	△5,614	△5,600
株主資本合計	117,285	125,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,534	2,277
繰延ヘッジ損益	△18	30
為替換算調整勘定	9,568	15,340
退職給付に係る調整累計額	239	235
その他の包括利益累計額合計	12,322	17,884
非支配株主持分	129	142
純資産合計	129,737	143,607
負債純資産合計	286,217	290,328

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	298,760	275,044
売上原価	258,759	239,883
売上総利益	40,001	35,160
販売費及び一般管理費	21,639	21,284
営業利益	18,361	13,876
営業外収益		
受取利息	76	291
受取配当金	177	179
受取手数料	109	88
持分法による投資利益	21	20
為替差益	359	—
その他	215	406
営業外収益合計	959	987
営業外費用		
支払利息	294	441
為替差損	—	291
その他	95	184
営業外費用合計	389	917
経常利益	18,932	13,945
特別利益		
固定資産売却益	11	6
投資有価証券売却益	39	1,074
退職給付制度改定益	126	—
負ののれん発生益	—	481
関係会社清算益	—	480
その他	1	2
特別利益合計	177	2,043
特別損失		
減損損失	28	7
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	126	184
その他	1	1
特別損失合計	158	193
税金等調整前四半期純利益	18,951	15,795
法人税、住民税及び事業税	4,773	2,501
法人税等調整額	756	1,878
法人税等合計	5,529	4,379
四半期純利益	13,422	11,416
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,412	11,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	11

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168	△258
繰延ヘッジ損益	92	49
為替換算調整勘定	7,326	5,711
退職給付に係る調整額	△129	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	156	69
その他の包括利益合計	7,613	5,567
四半期包括利益	21,035	16,983
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,019	16,965
非支配株主に係る四半期包括利益	16	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,951	15,795
減価償却費	2,009	2,026
減損損失	28	7
のれん償却額	34	16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△114	228
受取利息及び受取配当金	△253	△471
支払利息	281	441
持分法による投資損益 (△は益)	△21	△20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△39	△1,073
投資有価証券評価損益 (△は益)	126	184
負ののれん発生益	—	△481
関係会社清算損益 (△は益)	—	△480
売上債権の増減額 (△は増加)	3,614	15,540
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,984	△4,491
未収入金の増減額 (△は増加)	1,828	519
前渡金の増減額 (△は増加)	79	222
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,020	△5,723
未払費用の増減額 (△は減少)	908	△918
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,021	△1,287
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13	589
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△4,195	△4,515
その他	1,355	640
小計	13,598	16,750
利息及び配当金の受取額	254	474
利息の支払額	△266	△440
法人税等の支払額	△2,936	△7,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,650	9,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△934	△2,803
有形固定資産の取得による支出	△1,786	△1,987
有形固定資産の売却による収入	19	10
無形固定資産の取得による支出	△258	△118
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	491
投資有価証券の取得による支出	△392	△25
投資有価証券の売却による収入	261	3,204
短期貸付けによる支出	△361	△30
その他の支出	△66	△103
その他の収入	25	563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,492	△797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△709	△746
長期借入金の返済による支出	△10,018	△20
社債の発行による収入	9,945	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△21	—
自己株式の取得による支出	△1	△3
配当金の支払額	△1,966	△3,146
その他	△415	△277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,187	△4,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,425	2,338
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,396	6,898
現金及び現金同等物の期首残高	39,240	50,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,636	57,205

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	268,464	19,597	1,307	9,392	298,760	—	298,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,772	3,393	517	4,039	9,723	△9,723	—
計	270,236	22,990	1,824	13,431	308,484	△9,723	298,760
セグメント利益	16,617	965	95	658	18,335	25	18,361

(注) 1. セグメント利益の調整額25百万円には、セグメント間取引消去25百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	242,564	20,715	1,225	10,539	275,044	—	275,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,604	4,383	582	2,638	9,208	△9,208	—
計	244,169	25,098	1,807	13,178	284,252	△9,208	275,044
セグメント利益	11,785	1,280	112	623	13,801	74	13,876

(注) 1. セグメント利益の調整額74百万円には、セグメント間取引消去74百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。